

令和4年度 第3回 運営推進会議

議事録

看護小規模多機能施設 のぞみ
グループホーム のぞみ
小規模多機能施設 めぐみ
グループホーム めぐみ

日時：令和4年12月21日（水）15時30分～17時00分
場所：オンライン開催

1. 開会の挨拶

2. 看護小規模多機能施設 のぞみ

<活動状況報告> 添付資料参照

<外部評価>

～意見～

・人材育成について

《医師より》

現在「訪問介護」は資格が必要だが、「施設」は特に資格がなくても働ける。移行期間ではあるが、2024年4月からは「施設」も資格がないと働けなくなる。ただでさえ職員不足なのに資格が必須となるとますます人手不足になる。スキルがある人でも試験となると別物。せっかくの良い人材が失われる可能性がある。組織を上げて合格するようにしていくしかない。

・地域包括ケアシステムについて

《医師より》

「地域包括ケアシステム」については、理解している人はほとんどいないと思う。医療と介護の連携が主体だが、バラバラものを一つにまとめるのは難しい。団塊の世代が後期高齢者になる2025年に完成させると言っているがあと3年しかない。

港北区「高齢者支援ネットワーク」のように、まずはシステムではなくネットワークを作りお互い協力をし合ってやっていきましょう、というのが現実的ではないかと思っている。

《包括より》

ケアプラザでは「地域ケア会議」で地域の代表に集まっていただきそこにケアマネなどの専門職が入り、小さい地区単位で話し合いをしている。医療と介護の連携は大きな軸ではあるが、地域のゆるやかな繋がりもミックスできたらいいと思っている。

《家族より》

父が2年半お世話になった「看多機のぞみ」を退所し11月より有料老人ホームに入所した。地域密着型の施設と有料老人ホームの違いについて考えることがよくあるが、大きな違いは「地元根付いている」ことで、連携している医療スタッフや介護職員などに地域の方が多く地元の話もできて楽しそうだった。（地域包括ケアシステムについて）難しい漢字を並べて使うのではなく子供でもわかるようなレベルの話にしたらいと思う。

裏面に続く

3. グループホーム のぞみ

＜活動状況報告＞ 添付資料参照

～意見～

特になし

4. 小規模多機能施設 めぐみ

＜活動状況報告＞ 添付資料参照

～意見～

《薬局より》

服薬について、飲み込んだと思っても口腔内に残っていることがあるので気を付けてみてほしい。

⇒わからないことがあれば専門家に相談して自己判断しないで確認をするようにしたい。

＜外部評価＞

～意見～

《歯科医より》

(スタッフ) 担当者制をとっていないため個々の利用者さんの背景などわかりにくいのでは。そこを改善できたら地域との繋がりもより強くなるのではないかと思う。

《訪看より》

週1で伺っているがスタッフも感じがよく前よりも明るくなった感じがする。

5. グループホーム めぐみ

＜活動状況報告＞ 添付資料参照

～意見～

《家族より》

服薬については引き続き注意をしていただきたい。寒くなってきたので環境面でのチェックも行っていただきたい。いつもよく見ていただいて安心している。

6. 総括

《医師より》

新しいスタッフが増えて雰囲気はよくなっている。

事業の内容を見直して対策を立て、まさにPDCAサイクルに則っていて立派だと思う。

⇒アクションについては考えているだけでなかなか実行に移せないが頑張っていきたい。

《ゆいより》

看多機のぞみは重度の方が多いため、事故報告については頑張っても難しい面もあるが、なんとか対策を立ててやっていきたい。今後も引き続きよろしく願います。

7. 閉会の挨拶

【次回 開催日(予定)】

＜運営推進会議＞ <介護・医療連携推進会議＞

令和5年 3月22日(水) 15時30分～(予定) (開催方法：未定)